

地域猫活動について

中島 多久市の猫の避妊・去勢手術の補助金が終了に至った経過は。

答弁 補助金は平成29年から実施し、猫の無秩序な繁殖の抑制などを目的とした事業で、1世帯につき2匹までを限度に、猫1匹当り避妊手術4千円、去勢手術2千円でした。令和2年6月改正の動物の愛護及び管理に関する法律で、飼い主による猫の繁殖制限が義務化され、制度の対象が飼い猫であったことから令和4年度をもって終了しました。

中島 その効果は。

答弁 6年間の申請件数は383件で、合計413匹に対し補助金を交付しました。猫の無秩序な繁殖抑制に一定の効果があったものと考えます。

中島 野良猫に対する苦情相談は。

答弁 令和3年度5件、4年度11件、5年度2月末現在まで10件です。市の対応としては、保健所などと連携しながら野良猫にエサを与える人に指導を行っています。



中島 慶子 議員

中島 県の地域猫活動支援事業とは。

答弁 地域猫活動に取り組む市町を支援することにより、飼い主のいない猫の適正管理を推進し、生活環境被害の軽減などを図ることを目的とする事業です。地域住民の合意を得たうえで、市町がモデル候補地区を選定、事業計画を県に提出し、モデル地区に指定された後に、避妊手術実施などの地域猫活動支援に取り組むこととなります。市内では、地域住民の合意形成などが課題となり、事業の実施には至っていません。

【その他の質問】
▼地域交通について



市道について

香月 市で管理している市道の現状はどのようになっているのか。

答弁 全体で703路線、総延長325キロメートルの市道があり、定期的に職員や市道管理業務委託者が道路の点検を行っています。また、点検の際や地元通報による陥没やポットホールについては速やかに補修を実施しています。

香月 市道隣接地から市道内に雑木などが伸び、交通の妨げになる場合の対応は。

答弁 隣接地の土地所有者に行ってくださいが必要があります。土地所有者が対応できない場合は車道部で高さ4・5メートル、歩道部で2・5メートルの範囲を侵しているなど、緊急を要する場合には建設課で対応しています。

香月 中山・長尾線は歩道がなく電柱が市道に立っており、電柱の移設を依頼すると聞いているがどうなっているのか。

答弁 電柱に関しては隣接地、民地などへの設置をお願いしております。占用期間は10年ですが継続の手



香月 正則 議員

続きが行われ、このまま占用するケースがほとんどです。歩道は路肩が狭い状況であり、カラー舗装なども含め警察との協議が必要と考えています。

香月 交流スペース彩りの利用状況、また利用サークルが減った原因は。

答弁 旧むつみ荘が閉館する時点で11団体の利用がりましたが現在は2団体です。現地における食事や使用料などに関して難色を示されていたと分析しています。



議会広報委員会 視察報告

議会広報委員6人は令和6年1月22日に福岡県添田町議会、長崎県波佐見町議会を「議会広報誌」の刷新のため視察を行いました。添田町の議会広報誌は多久市議会「議会だより」と比較して、市民のコメントや写真、イラストを多用し、とにかくわかりやすく、手に取って見たいくなる内容でした。添田町では安定し、充実した議会広報誌を作成するためにマニュアルを作成されています。それにより広報の目的や作業内容を明確にすることで意識の統一と作業の標準化を図っています。また、編集方針も住民ニーズに合わせた話題を議会らしく提供し、中学生がわかる内容・文章を心がけるとしています。



添田町議会だより



波佐見町議会だより

また、波佐見町の議会広報誌は全編カラーでわかりやすい内容でした。波佐見町議会の議会広報誌の特徴は表紙に波佐見高校美術科の生徒の作品と生徒の顔写真を入れ、親しみやすさを演出していました。また、一般質問の記事は質問者本人が原稿を書いており、多久市でも今後検討課題です。全議員が広報誌の作成に関与するべきとのアドバイスもあり、ノウハウの蓄積という点からも、クオリティを高めるうえでも必要と感じました。今回の視察で今後、多久市議会「議会だより」に活かしていく点は、

- ① 「議会だより」の作成マニュアルを制作する
- ② 住民へのインタビューを積極的にを行い、住民の顔出し、コメントを多用する
- ③ 文章は文字数を減らし、イラスト・写真を多用し中学生でもわかる内容にする

これらの改善により、多久市民が全世代にわたり「議会だより」を手にとって読んでいただける内容にするため努力していきたいと思えます。

議会広報委員会

